関西 NBC ニュービジネスアワード 2026　グランプリ/近畿経済産業局長賞

対象事業：マイクロ波式次世代溶剤再生事業
会 社 名：コーベックス株式会社
代 表 者：代表取締役　松原啓一（マツバラケイイチ）
URL：http://www.kobex.co.jp
E-mail: matsubara@kobex.co.jp
TEL：078-303-2501
会社設立：1969年6月
資本金：40,000千円
従業員数：10人
売上高：510,587千円

■事業概要：
接着剤・粘着剤の製造・塗工工場では、製品切替時のタンク・塗工機等の洗浄に大量の有機溶剤を使用するが、樹脂分を多く含む高粘度廃液は従来蒸留が難しく、多くが外部焼却されている。本事業では、マイクロ波を用いた新たな蒸留技術により、こうした難処理廃液から50％以上の溶剤を回収・再利用し、廃棄物・溶剤購入量・CO_2排出量の削減を実現する。



関西 NBC ニュービジネスアワード 2026　ビジネスプラン部門　最優秀賞

対象事業：未利用木材(林地残材や廃棄木材)をオオシロアリで高付加価値飼料に変換する事業
チーム名：WILFoodプロジェクト
氏　　名：深掵　友裕（フカツ　トモヒロ）　他４名

■事業概要：
未利用木材や廃棄木材を活用し、京都大学の研究成果である「オオシロアリ」による木質分解・生物変換技術を用いて、高付加価値飼料を製造する事業。競合が極めて少ない原料を利用し、生産コストの削減と資源循環を実現する。また、副産物であるオオシロアリの糞（蟻土）をバイオ肥料や抗生物質、創薬分野などに活用し、事業の拡大を目指す。



関西 NBC　B-hack2026　グランプリ

■対象事業：廃棄野菜を「色」に変える地域循環型アップサイクルブランド ～食べられなくなった野菜に、もう一度価値を。～
学校名：　立命館守山高等学校
代表者：　安部　真花　（アベ　マハナ）

■事業概要：
食用としての活用が難しくなった野菜や果物から天然由来の染料をつくり、靴下やハンカチなどを染色・販売する事業である。農家から廃棄予定の野菜や果物を譲り受け、「色」という新たな価値を生み出すことで、廃棄物の削減と地域資源の有効活用を目指す。商品には使用した野菜や生産者の物語を伝えるタグを付け、天然素材ならではの色合いや、一点ごとに異なる風合いを楽しめる工夫を施す。また、染色ワークショップを通じて、廃棄されるものが新たな価値を持つ課程を体験する機会を提供し、資源を大切にする意識を広めることを目指す。



地域・共創部門　部門賞

■対象事業：BIWAKO LOOP-未利用魚を「廃棄」から「地域の価値」へ-
学校名：　立命館守山高等学校
代表者：　片桐　渚紗　（カタギリ　ナギサ）

■事業概要：
琵琶湖で十分に活用されていない魚を、地域の水産関係者と飲食・ペット関連事業者につなぎ、商品として継続的に活用する地域循環型ビジネスである。現在、わかさぎを守山漁業協同組合から仕入れ、水鳥ステーションの「わかさぎのペペロンチーノ」「わかさぎの佃煮」や、Wanfood BULANのペット向け商品に活用している。単発の商品開発で終わらず、「仕入れる→商品化する→販売する→次の仕入れにつながる」循環をつくるものである。



未来・テクノジー部門　部門賞

■対象事業：HalalReady訪日ムスリム市場と京都の食産業を繋ぐデジタル認証SaaS
学校名：　京都市立西京高等学校附属中学校
代表者：　Sajid Muhammad Ammar
（サジドムハンマドアマール）

■事業概要：
海外から日本を訪れるイスラム教徒は、ハラール対応かどうか分からず、言語の壁によって調べたり確認したりすることが困難であり、日本との間にギャップが生まれている。また、日本の観光・飲食産業も、本来得られるはずの市場やつながりを失っている。本事業は、こうした課題を解決するために、イスラム教徒と京都・日本の飲食/サービス業をつなぎ、日本の食やおもてなしを安心して味わえる機会を提供するビジネスである。



暮らし・ウェルビーイング部門　部門賞

■対象事業：高齢者専用マッチングアプリ"もーすぐ"
学校名：　大阪府立大阪ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾛﾝﾃｨｱ高等学校
代表者：　木原　孝介　（キハラ　コウスケ）

■事業概要：
65歳以上の高齢者専用のマッチングアプリである。恋愛や結婚を目的とするものではなく、気軽に遊んだり、つながったりすることを目的としたものである。時間やお金に余裕のある高齢者同士の交流の場を増やし、アプリを通じて安心・安全な高齢者だけのコミュニティを提供することで、心身ともに健康な状態を目指すものである。

